

# FENSTERBAU FRONTALE & HOLZ-HANDWERK 2022 開催レポート

## - 「夏版」での活発な再会

FENSTERBAU FRONTALEとHOLZ-HANDWERK は2022年7月12日から15日までニュルンベルクメッセで同時開催されました。33カ国から708の出展者を13ホールに迎え「夏版」として復活、100カ国以上からの約28,500人の来場者は、木工と木材加工、そして窓、ドア、ファサードに関する最新動向を活発に「発見、体験、実行」し、Face-to-Faceの再会を喜び合いました。晴天を最大限活用し、芝生での開催記念パーティーや広場のテーブルでのカジュアルなビジネスミーティングなど「夏版」ならではの光景がみられ、「ライブと現場でしか体験できないような実践的な雰囲気を持つ見本市に戻ってきてよかった」という声が多く寄せられました。

また、現地に足を運ぶことが難しい方々のため、オンデマンドのサポートプログラムが準備され、フォーラムの録画は現在もこちらからご覧いただけます。是非ご活用ください。次回は通常のスケジュールに戻り、2024年3月19日から22日に開催されます。

### ■ [FENSTERBAU FRONTALEとHOLZ-HANDWERK は2022開催報告リリース（英語）](#)



(ニュルンベルクメッセ日本代表部)

## BIOFACH・VIVANESS 2022 開催レポート -「最初で最後の」夏季開催

7月26日から29日、BIOFACH/VIVANESS 夏バージョンが開催されました。欧州各国は夏休みの最中ということもあり、出展、来場ともにパンデミック以前より減少しました。とはいえ、94か国からの2,276の出展者が、137か国から24,000人を超す来場者を迎えることができました。来場者の国数で見ると2019年144か国、2020年136か国ですから過去の通常開催とほぼ変わりません。いかに、世界中の人々が「見た目」「香」「味わい」など五感を通して出展製品を体験することを熱望していたかが窺えます。日本関連の展示では、JETRO ジャパンパビリオンに14社が参加。独自に日本から、またドイツの支店や代理店を通して参加されている会社も4社ほどありました。



ジャパンパビリオンでは、日本茶の展示が多数を占めており、夏季のためか、冷茶やかき氷の試食で日本茶の味わい、香りがアピールされていました。日本茶以外の食品を展示されている会社の皆様は、日本以外ではまだ珍しい製品について調理方法も含め試食を提供、パンフレットやポスター、動画などもあわせて紹介に努められていました。



一般エリアで初参加の日本企業2社

出展されている皆様にお聞きしたところ、毎回訪れてくれるお客さんが夏休み中ということで会えなかった、といったやや残念なコメントがある一方、訪問者数は以前に比べ激減したのは確かであるが、目的を持った訪問者ばかりで中身のある話ができ。ヨーロッパからの来場者に加え、アフリカ、中東など様々な地域から、またイスラム、ビーガンなど様々な食習慣をもつ訪問者があった。展示会のコンセプト「有機」がはっきりしており、製品を訴求しやすかった。展示製品の活用について提案を持ってきてくれる訪問者がいた。次回は半年後ですが通常通りの2月開催となり、2023年は2月14日-17日に開催予定です。従来の訪問者が戻り、さらに活気が出るのが期待できます。ニュルンベルクメッセ日本代表部として、今回よりもさらに多くの皆様のご出展、ご来場をお迎えしたいと思います。

- [BIOFACH2022 開催報告プレスリリースはこちら（英語）](#)
- [JETRO による BIOFACH2022 のジャパンパビリオンの報告はこちら](#)
- [BIOFACH2023 についてはこちら](#)